



# はき"のね

vol.4

萩ネットワーク リニューアル版

# 秋の米

新米の季節がやってきた。秋では日々の中に田植えや黄金に実る穂、  
収穫祭があり、ご飯の向こうに生産者の顔が浮かんでくる。  
今回は、栽培方法や消費者とのつながりを大事にする3組の農家と地域の風習、  
新たな動きを紹介。秋風に乗って、新米の香りが届きますように。

## 目次

P2 特集・秋の米 P8 Hagi School Story

P10 HAGI TOPICS P14 Information P16 旬の情報

## 九郎米

佐々並 くろうがさとしんこうかい 九郎ヶ里振興会  
たかぎまさお 高木政夫さん

栽培面積：3ヘクタール  
品種：コシヒカリ、日本晴（隔年栽培）  
水源：男岳から流れる黒ヶ谷川の水

一度食べたら  
忘れられない味

佐々並は、米がおいしく育つ条件がそろう米どころ。標高が高く寒暖差のある気候、男岳から流れる清らかな黒ヶ谷川の水、粘土質の土。ここで作られた九郎米は、2年ほど前から長門市の老舗旅館・大谷山荘の別邸「音信」の食事に提供されている。音信で食事をした人から、高木さんのもとへ、米を注文したいという電話がたくさん入ってくるそうだ。大谷山荘の土産処でも販売されている九郎米は、あつと言う間に売り切れてしまう。高木さんの作る米を食べた人は、たいていリピーターとなる。一度食べたら、忘れられない味であるらしい。

2019年度産の米は、今年7月には売り切れ。2020年の新米を全国の九郎米ファンが首を長くして待っている。東京、千葉、栃木など関東圏にもファンが多く、萩市で大雨が降ったというニュースが流れれば、「田は大丈夫？」と電話がかかってくるそうだ。「このお米だけは

よく食べるから」と、孫のために注文する人もいれば、昔食べた故郷の米の味が忘れられないという萩市出身の人もいます。

## 九郎米のこだわり

高木さんが本格的に米作りを始めたのは、10年ほど前。長距離トラックの運転手の仕事を定年退職してからだ。高木さんの両親、祖父、曾祖父、高祖父と代々田を管理していた。幼い頃から、家の手伝いをして親しんできたので、米作りは体が覚えている。昔は、牛を飼い、山の草を刈り、それを堆肥にして土作りをしていた。

今は、化学肥料を使うのが主流になってきているけれど、堆肥だけで作った米とは「味が全然違う」と高木さんは言う。昔ながらの米の味を守るために、高木さんの米作りは、化学肥料を抜くところから始まった。3年間堆肥だけで米を作ると、味が変わった。こだわりの九郎米の誕生だ。

## お客との絆

こだわりの米作りを始めた10年前、ネット販売を中心に、自分で作った米は自分で売ると決めた。注文の電話をかけてくる人とは、お互いの近況を話すこともある。米を注文する量が増えた理由を尋ねると、子どもが独立して、子どもの世帯が食べる米も注文しているからだという話を聞く。別の人からは、通学に時間がかかる息子のために、毎朝5時に起きて弁当を作るという話を聞く。高木さんも、稲の生育状況や米作りについての話をする。そんなやりとりをすることが、高木さんのモチベーションになっている。

## 九郎米のこれから

高木さんが住む九郎ヶ里の集落は、限界集落となり、生産者も高齢化。九郎ヶ里振興会の立ち上げ時のメンバーには、九郎米生産の活動を離れる人も増えた。今では、高木さんも70歳を超え、同じく定年退職後に米作りを本格的に始めた吉山幸博さんと2人が九郎米の生産を行

う。棚田で行う米作りは、大変な労力がかかる。化学肥料は使わないので収穫量は少ない。決して儲かるとは言えない。けれど、だからこそ。この味になるのだ。

高木さんはこれからの世界についてこう言及する。

「アフターコロナの世界は、本当に必要なものだけが残る世界になる」。

高木さんの息子は、山口県を離れ、エンジニアをしており、農業の話をしたことはないそうだ。だから、高木さんのように定年退職後に米作りを継ぐかどうかはわからない。けれど、九郎米の味は「本当に必要なもの」であるに違いない。



九郎米の袋。上流の水で作る特選米もある

### 主な販売店

- ・道の駅 萩往還
- ・道の駅 あさひ
- ・大谷山荘お土産処 山茶花さざんか（長門市）
- ・おいでませ山口館（東京都）

### 道の駅 あさひ 弘中誠 店長コメント

佐々並に移住して最初に出会ったのが高木さん。土地の特徴や米のおいしさを教わりました。自信を持ってオススメです！

Info  
萩市佐々並4267  
0838-56-0526

<https://www.kurougasato.com/>



高木さんが「農家のおっちゃんブログ」を書くことが唯一の宣伝



# むつみ男米

むつみ アグリード  
たけしげさとし  
竹重聡さん

栽培面積 約7ヘクタール  
品種：コシヒカリ、山田錦、ヤマダワラ、  
ミヤタマモチ、パエリア専用米「ボンバ」  
水源：大將山から流れる伏流水



今年の稲刈り、はぜ掛けの様子。じっくり天日干しをする



むつみ男米（左奥、右手前）、お米のシロップ（左手前）、  
パエリア専用米（右上）



竹重さん自作のお米のシロップ用かまど

## 昔ながらの農法で、百姓の知恵をいかす

アグリードの竹重さんは、異色の農家だ。実家は、旧むつみ村で代々米作りを行ってきたが、竹重さんは高校卒業後、故郷を離れた。広島県で30年以上建設業に従事してきたが、父親が80歳、自身が50歳になったタイミングで本気で農業を継ぐ決意をした。天然のゲンジボタルが乱舞する、自然豊かな里山の米の味を残したいとの思いからだ。自身が代表を務める建設業の「むつみ未来」本社を故郷に移転し、同時に農業生産法人「アグリード」を立ち上げた。

アグリードでは、心から子どもや孫に食べさせたいと思える安心安全な米作りをこだわっている。米ぬかや籾殻を肥料にし、コンバインで稲刈りをする米の他に、乾燥機を使わず天日干しする「はぜ掛け米」も作る。周辺では珍しい農法だが、労力がかげず雑草を生えにくくさせるため、冬の田に水をはり、春は耕さずに田植えをするという栽培も行なっている。農薬や化学肥料を使わず、水中生物によって肥料ができる自然環境と人にやさしい農法だ。

米を加工し「お米のシロップ」も作っている。きっかけは、農業体験に来た和菓子屋さんに、米飴が作れないか相談されたこと。米飴は知らなかったが、母・良子さんの記憶を辿ると、祖母が作っていたことが分かった。その記憶を元にレシピを再現。原料は、自然栽培のもち米と大麦のみ。自作のかまどで、薪の火で煮詰めて作る。数々の賞を受賞し、スーパーや百貨店のバイヤー、料理家、一流料理店のシェフなどから高い評価を得ている。

### 主な販売店

- ・萩・むつみの恵み
- ・キヌヤ菊ヶ浜店
- ・道の駅センザキッチン（長門市）
- ・ふれあいステーション大道（防府市）
- ・食ベチョク、楽天、Creema（ネットショップ）

Info  
萩市吉部下4142  
08388-6-0955  
<https://hagi-aglead.com/>  
@mutsumi.muraichiba  
@aglead.hagi





## 森のおたから米

## 弥富 宍戸農園 宍戸宣之さん 佐智子さん

品種：朝日  
栽培面積：約 0.5 ヘクタール（水稻）  
約 0.7 ヘクタール（そば）  
水源：伊良尾山から流れる水

### 自家採種した在来種の米「朝日」を自然栽培

米作りをするために、伊良尾山のふもと弥富に2018年に移住してから、濃密な時を過ごしている宍戸さん夫妻。今年、弥富で2回目の収穫を迎える。

佐智子さんは見島出身。萩高校卒業後、京都の短大へ進学し、半導体を製造するメーカーに就職。京都出身の宣之さんと出会い職場結婚した。その後、子どもが生まれると、2人で農業をしながら、子育てをする意思が固まり、会社を退職。

農業未経験だった2人は、まず、防府市で自然栽培を行う農家「天神自然農園」で2年間研修した。そこで出会ったのが在来種の米「朝日」。そのおいしさに魅せられ、今もその種籾をつないでいる。その後、自然栽培の米作りができる土地を探している。「かものはら果樹園」の宮内欣二さんが、弥富の田を紹介してくれた。初めて訪れた土地だったが、「ここがいい」と即決。田を決めてから住居も決め、米作りのための機械や設備も貸してくれるという恵まれ



朝日の稲刈りは10月末と遅め



東京の料理家にも好まれる米

た環境が整った。

自然栽培は、農薬はもちろん、堆肥などの有機肥料も一切入らない。手間がかかり収量は少ないが、宍戸農園のこだわりだ。4月に引越し、5月に種蒔き。耕作放棄地だった田の雑草をすくところからのスタート。地力が蓄えられていたのか、米は予想以上の出来だった。

1年目から、そばの栽培にもチャレンジ。宣之さんは、そばうちを学び「龍の里やどみ」のメンバーとして関わる。佐智子さんは、りんご酵母で作るそば粉100%のパンを開発し、販売を始めた。今後は朝日の米で麴を作り、発酵食の料理を提供したいと計画している。

Info  
萩市弥富下3903-1-8  
090-5054-5393  
shishidonouen



#### 主な販売店

・キヌヤ菊ヶ浜店



# お米づくりと地域の習わし

お米づくりは1年かかります。その折々、萩の各地では様々な習わしが行われてきました。懐かしくあたたかい、いくつかをご紹介します。

## 二月 盗餅



子どもたちが「とへとへ」と言いながら家々を回り、ワラで作った馬を置いてお餅などのお供え物を盗っていく祭りで、地域の楽しみの一つでもあった。子どもたちにお供え物が盗まれることで、農作や健康への願いが叶うとされた。

【三見地区など】

## 初め七月 虫送り



田植えが終わり、大事なイネに虫の害が及ばないよう、農薬のない時代から続く儀礼。麦ワラで船を作り、虫がついたと見なす苗株やお供え物に乗せて、村のはずれの川から「去ってもらおう」思いでそっと送り出す。

【椿地区、大屋地区など】

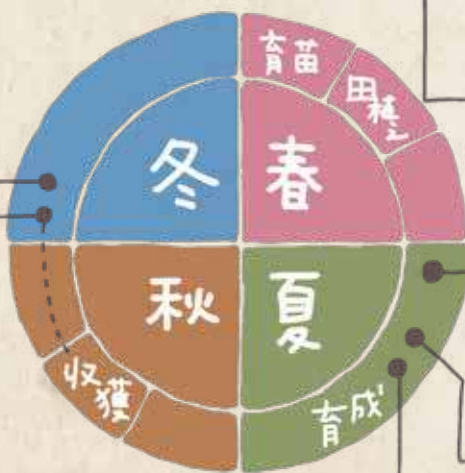
## 正月 収穫祭・農事始め



収穫に感謝する各地の秋祭り。神楽が盛んな地区では、舞の場に現われた神様が農作を教え収穫を約束する演目も披露される。

見島では、年の変わり目に、来る年の豊作を願って農地に注連飾りを飾ったり、道具の箕や杵にお餅を供えたりするなどの風習が伝わっている。

【見島】



## 八月 柱松



農耕に欠かせない牛馬の安全を願う祭り。江戸時代、長州藩領内で4万頭超の牛が疫病に倒れたことから、「疫病退散!」と火で災いを追い払った。むつみ地域の「野田の火祭り」では、約10mの柱上のカゴへ火をつけたワラ束を投げ入れる。

【むつみ地域など】

## 八月 風鎮祭



風を鎮め、イネへの被害が及ばないように願う祭り。台風シーズンを迎える前に行われる。木間地区では、8月15日に若宮神社で、地元で180年間伝わっている萩市指定無形民俗文化財の神楽「神代(かみよ)の舞」を奉納する。

【木間地区など】

【教えてくれた人】  
萩博物館 清水満幸さん

【イラスト】  
nating design  
©nating.design

## 酒米「山田錦」も、そろそろ刈り取り



今年の交流酒米栽培を担当した、法人「HN 紫福」の田

「オール萩・阿武」の酒造りを掲げて3年前に設立された、「萩酒米みがき協同組合」。萩と阿武の6酒蔵と14農事組合法人、JA山口県が一体となり、稲作・磨き・醸造まで地産が貫かれる、先駆的な組合だ。消費者との交流行事として、担当法人の田で田植えと稲刈りをし、毎年蔵を替えて「みがき6」ブランドの日本酒を造っている。今年は組合員のみで刈り取り、担当蔵の中村酒造で醸され、来春販売予定。最新情報は、10月末完成のホームページに掲載する。

Info  
萩酒米みがき協同組合  
090-4804-2493(事務局:大田)



## 大阪の生地メーカー社員が萩に「カッコいい農業」の新風を吹き込む

はらたかひで  
原尚豪さんは、現在、「大協テックス」(大阪府)の社員として萩にUターンし米作りをしている。同社は服の生地メーカー。2018年に社長が社員へ異業種チャレンジの案を募集した際、原さんは農業を提案。1年間、プレゼンし続けて、ようやく萩での活動が認められた。昨年萩へ引っ越し、田万川の法人の指導を受けて米作りを始めた。今年は1人で4ヘクタールの田を管理。自社の生地で機能的な農作業着を作る計画もある。目指すのは若者が集まる「カッコいい農業」だ。



新デザインの米袋を持つ原さん



自社の生地を使った農作業服

Info  
大協テックス  
萩支店:萩市椿2897-1-B203  
090-6910-9852  
◎KAMITAMA\_rice  
本社:大阪市中央区北久宝寺町2-1-7



## 生産者と消費者がつながる「はぎマルシェ」



8月の第2回「はぎマルシェ」の様子

「生産者と消費者がつながる場所になる」ことを目的に、毎月第3土曜日に開催される「はぎマルシェ」。客が農家や作り手と直接交流しながら、季節の野菜や花、農産物加工品などを購入できる。地産地消を促進しようと萩市農政課が働きかけ、生産者からなる実行委員会が主催する。

「日ごろ買っている食材を生産者の顔を見て購入することができて安心した」という参加者からの声も届く。

次回、第4回は新米フェア。萩市中央公園で10月17日(土)午前11時~午後3時に開催される。

Info  
0838-25-4192(萩市農政課)  
◎毎月第3土曜  
📍はぎマルシェ





前号から始まった「Hagi School Story」。新しい生活様式の中、萩の高校ではどのように対応し前へ進んでいるのか。また、貴重な時間を過ごす生徒たちの活躍や思いに触れるエピソードを、シリーズでお伝えします。

# 萩光塩学院

はぎこうえんがくいん



2020年2月、山口市の維新公園にて。レノファ山口FCの開幕戦を盛り上げるパフォーマンスを行った

地域のニーズに応え快進撃を

続ける萩光塩学院。部活動でも大活躍。卓球部は昨年、インターハイで女子団体3位という快挙を達成した。顧問の阿部<sup>あべかずみち</sup>一道先生は、光塩学院小学校OBであり、自身も選手として全日本選手権出場経験をもつ。卓球部指導の実績が評価され、山口県私立学校優秀教員表彰を受けた。今後は、日本代表選手を育てることと全国大会日本一が目標だ。

テニス部は、中高併設校として、中学生から硬式テニスができる環境が功を奏し、毎年、全国私学高等学校テニス選手権大会中国ブロック大会に出場。地区大会では常に上位入賞し、好成績をおさめている。

文化部では、美術部は、萩まちじゅう博物館の「おたからマップ」にイラストを提供。今年の夏は、ギャラリイカフェ藍場川の家で作品展を行うなど、地域に存在感を示している。

山口県内で最初に書道パフォーマンスを始めた書道部は、



2019年8月、女子団体3位に輝いたインターハイ表彰式

毎年20回ほどイベントに呼ばれる売れっ子だ。しかし、今年のイベントは新型コロナウイルスの影響で中止。そんな中、7月にNHK山口放送局が制作する『Yスぺー』の、大会や発表の場が失われた高校3年生にエールを送る番組に出演した。

12ある部活動はどれも活気にあふれ、生徒たちはそれぞれが輝ける場で自分の力を惜しみなく発揮している。

Info  
萩市東田町15  
0838-22-0782  
hagikoen





# Hagi School Story

## 萩商工高校

スペシャリストの育成を目標とする萩商工高校。主体的に取り組む生徒たちの姿が印象的だ。その一つに、地域と取り組む「課題研究」がある。12年前から、道の駅萩・さんさん三見で6月に開催する「日本一精度の高いびわの種飛ばし大会」を協働実施している。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、「お世話になっているお返しをしたい」と、生徒がフェイスシールドの作成を発案。

工業系の生徒が開発し、商業系生徒がキャラクター「びわレンジャー」をデザイン。10月に贈呈式が予定されている。



笠山に設置したカウンター



学科ごとに色違いのTシャツを着て作製した人文字スローガン。特別活動ができない中、生徒会を中心に企画した

チームも。「IoT技術で観光産業に貢献を」と7月、萩市ジオパーク推進課に相談。データは、展望台のリニューアルに向け活用される。

コロナ禍では、部活動も制限された。甲子園を目指していた野球部の石橋知治監督は選手いしはらの胸中を思い、自粛中、SNSグループでメッセージリレーを開始。選手は特技や地元紹介など発信し、元プロ野球選手のOBも特別参加してモチベーションを維持した。全国高校総体出場が有力視された少林寺拳法部では、団体出場ギリギリの女子部員数の中、ただ一人の2年生に、3年生からお礼が述べられた。

6月に生徒総会で決議したスローガン「萩商工PROUD無制限の革新」。8月下旬、生徒一丸となりその思いが人文字で表された。



開発中のフェイスシールド

Info  
萩市平安古町544  
0838-22-0034



# HAGI TOPICS

ハギトピックス

## 旧明倫小学校 3・4号棟 オープニングイベント！

### 自由な発想でのびのび描く 未来へチャレンジする場



この夏、「産業・ひとづくり・交流」をコンセプトに整備工事が始まった旧明倫小学校 3・4号棟。未来へのチャレンジ拠点として、2022年3月に新しく生まれ変わる。その現場を囲う50m×2mの壁を、子どもたちが自由に描くオープニングイベントが8月1日に開催された。萩の魅力や資源をアートという切り口で活用する事業に取り組む、地域おこし協力隊の秋山光里あきやまみつりさんが企画。

当日は、市内小・中学生を中心に、アート活動をする大人や偶然立ち寄った観光客など約60人が参加。「これからの時代を生き抜く子どもたちの、発想力とたくましさを感じる壁画となった」と、萩市産業戦略室の藤原勝也ふじわらかつやさん。整備完了予定の来年10月まで、萩の未来を感じる新たなスポットとして、みんなの大作が公開されている。

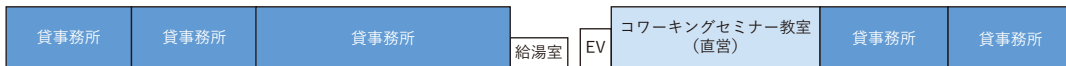
Info  
萩市江向602  
旧明倫小学校3・4号棟  
(壁画は旧体育館裏、観覧自由)

## 4号棟活用プラン

### 入居者イメージ（現段階）

#### 産業ゾーン

2F 産業活力みなぎるまちづくりを支える場



#### ひとづくりゾーン

1F 子どもから大人まで学び体験できるひとづくりの場



#### 交流ゾーン

市内外の人につながる交流・協働の場



1階は、交流や関係人口の拡大、学びの場として活用。2階は、産業活性化の芽を育むオフィススペースとして予定されており、8月には入居希望事業者を対象にプロポーザルミーティングが開催された。次回は、カフェやFab(モノづくり)体験施設の運営事業者などを対象に10月に予定されている。

Info  
萩市産業戦略室  
0838-25-3351







看板メニューの説明をする植木さん



一番人気「刺身盛り合わせ」990円

居酒屋 <sup>ぎん</sup> 銀

山口県の地酒と萩沖で獲れる天然魚の刺身を、萩焼「銀」の器で味わえる居酒屋。岩崎酒造の隣に、4月にオープンした。店長の植木浩二さんは、幼少の頃から食べることや料理が大好き。山口県内の店で経験を積んだ後、萩でバー2店舗を営むオーナーから声がかかり、新店を任された。看板メニューは、刺身盛り合わせ、手羽元(長州どり)の唐揚げ、肉汁たっぷりの焼餃子。旬の萩産野菜もはずせない。どのメニューもリーズナブル。店内は開放的な空間。カウンター席もあるため、1人で楽しむこともできる。唐揚げのテイクアウトもおすすめだ。

Info  
萩市東田町62-1  
0838-21-5027  
🕒18:00~23:00(L.O.22:30)  
🗓️月曜  
📍御成道・たまち駐車場を利用  
📍sakana\_sake\_gin



時期折々の味わいが楽しめる、彩り豊かなおばんざい

吉田町通り北に佇む一軒。店主の片山明枝さんが、「家に帰ったように気軽に楽しめる店を」と6月にオープン。おばんざいは20種類ほど。人気のポテサラ(350円)は、時期替わりで並ぶ品種のジャガイモを使い、旬の味わいを提供。「食材を見て料理がひらめくんです」と仕入れを大事にする。シメは、サザエご飯や嫁の皿の炊き込みご飯が登場することも。萩の家庭料理でホッとする時間を過ごしたい。

Info  
萩市古萩町102-1  
0838-26-3313  
🕒17:00~21:30(L.O.21:00)  
🗓️月・火曜  
📍3台



外観からもわかりやすいディスプレイ

2013年より宇部市で「萩焼屋」を営む板垣克昌さんが、西田町の藤川書店跡に2店舗目をオープン。以前から萩市への出店を検討しており、陶芸専門店が年々減少していく様子を目の当たりにして、出店を決断。江戸初期からの窯元など、30以上の作家の作品を扱う。「山口県から世界へ発信する」というコンセプトのもと、通販サイトも運営。上質で見応えのある作品の数々が国内外からのファンを集めている。

Info  
萩市西田町51  
🕒10:00~15:00  
🗓️月~木曜  
📍御成道・たまち駐車場を利用  
📍hagiyakiniya\_japanese\_pottery



## うれしい企画満載！ 萩焼まつり web 版陶器市



参加型企画もあるテーブルコーディネート展

1991年に第1回が開かれて以来、毎年開催されてきた萩焼まつり。今年で30回目を迎える予定だったが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。しかし、新しい形で「萩焼まつり web 版陶器市」が10月の1カ月間に開催される。with コロナ時代の新しい萩焼まつりは、萩焼を直接手にとって選ぶことこそかなわないが、うれしい企画が満載なのだ。

### ここがうれしい！

1. どんなに買っても送料無料（先着2,000名）
2. 萩の特産品プレゼント（1万5,000円以上購入しアンケートに答えた先着315名）
3. ここでしか買えないものがたくさん（出店事業者41店舗、約1,000種）
4. 窯元によるInstagramでのライブ配信

### Info

萩焼まつり実行委員会(萩商工会議所内)  
0838-25-3333  
@hagiakimatsuri



## 「萩ライフ」でごはんのおともになる、絶品グルメをお取り寄せ

インターネットサービス事業を行う会社「BOLSTER」<sup>ボルスター</sup>（東京都）は、2019年にサテライトオフィス萩をオープン。地元の新卒など20代の社員などが、熱い思いで働いている。萩のスタッフが運営するヤフーショッピング内のストア「萩ライフ」は、全国に萩の味、技を届けるため、現在、21事業者の141商品を取り扱う。ここでしか手に入らない商品もある。新型コロナウイルスの影響により市内事業者の売上が減少する中で、生産者や中小企業者の新たな販路の開拓と萩製品の販売促進を図る「がんばろう萩！ ECサイト販売促進事業」の認定を受け、今後は、取り扱いを51事業者まで増やし、萩焼のラインナップも加わる予定だ。お歳暮用商品には、老舗蒲鉾店同士のコラボレーションを実現させるなど力を入れており、大切な人への贈り物にもおすすめ。



「みどりや」  
すぐ食ベセット 6,200円

手軽に本格的な  
見蘭牛の味が楽  
しめる！



「井上商店」  
うにめしふりかけ5食分×3セット入り  
1,380円

うにを粒のまま  
フリーズドライ



### Info

BOLSTERサテライトオフィス萩  
萩市椿東1158-7  
0838-21-7780  
📍オハナスタイル萩





## さいちゃん、はじめての展覧会

この夏、萩でたぐいまれな才能を見せたのが、川上小学校4年生の國本彩夏さん。7月30日～8月24日までの間、自身初となる展覧会がギャラリーカフェ藍場川の家で開催された。展示されたのは、3歳～現在までで描きためたという作品の数々。ペン画、水彩画といった縛りはなく、幅広い作風に秘められた才能は圧倒的だ。展覧会には多くの友人が訪れたと言い、「学校の友達にも、それ以外の人にも見てもらえたのが嬉しかった」と話す。独自性に溢れるユニークな作品とチャーミングな笑顔で、これからも多くのファンを惹きつけること間違いなし！



5歳時に県美展で最年少入賞を果たした作品も



國本彩夏さん

川上小学校4年生。イラストを中心とした創作が得意。イベントでは即興似顔絵屋としても活動。今年5月発行の『世界で一番好きな店』（ふもと出版）では執筆デビューも。

# スーパー小学生！

これはもう、応援しなくちゃ！  
可能性あふれる萩ガールズを発見！

## けん玉ゆいちゃん、日本一へ！

デンマークのけん玉ブランド「KROM」がスポンサーとしてサポートする小学生は、日本に2人のみ。その1人が、「けん玉ゆいちゃん」こと、中村結さんだ。

小学1年生の時、イベントでけん玉プレーを見て一目惚れ。その場でチャレンジすると、いきなり技を達成し検定10級に合格。この賞状が、大きな原動力となった。萩には先生も仲間もない中、一人カンカン、家で練習。ネット上の動画が、良きライバルで良き講師だった。その後、広島県廿日市市の大会で初優勝。大会に出たい思いと負けず嫌いから、日本けん玉協会山口総支部に入門し、現在は最高位の5段を取得。

昨年は西中国ブロック代表として全国大会に出場するも、1回戦で敗退。悔しさをバネに、今年は日本一を狙う！



中村 結さん／けん玉プレーヤー  
明倫小学校5年生。「ボーダーバランス」など静止形のバランス技が得意。1日1メイクをルールに、こだわりの動画で発信するインスタグラムのフォロワーは1万人超。毎週水曜19時から、田町商店街でけん玉講師としても活躍する。

Info  
@yuiyuiuidesu



## Information

### 5つの世界遺産をめぐる！ 「萩・世界遺産カードラリー2020」開催中

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」を構成する萩市内の5つの世界遺産と、世界遺産ビジターセンター（萩・明倫学舎内）をめぐり、世界遺産カードを集めるラリーイベント。5ヵ所以上のカードを集めて萩市観光協会に持参すると、「萩にゃん。」缶バッジなどの記念品をプレゼント。

会期 開催中～12月27日（日）



Info  
萩市観光協会  
0838-25-1750



### 萩市ふるさと寄付の返礼品に登場 萩の素材を詰め込んだ ボンボンショコラ特別セット

プライベートチョコレートブランド「kiki-<sup>キキ</sup>季季-」を展開する東京都白金台の「八芳園<sup>はっほうえん</sup>」と、萩市の老舗旅館「萩の宿<sup>ともし</sup>常茂恵」がコラボレーションして、萩の3つの食材を採用した「kiki ボンボンショコラ 萩特別セット」が誕生。この秋から、萩市ふるさと寄付の返礼品にラインナップしました。

#### 3つのフレーバー

白胡麻：「アグリード」が栽培する無農薬・無肥料栽培のゴマ

酒粕：「澄川酒造場」を代表する日本酒・東洋美人の酒粕

夏みかん：夏みかんの栽培から加工、販売まで手がける「たけなか」が提供



Info  
萩市産業戦略室  
0838-25-3351



### 山口県立萩美術館・浦上記念館 三輪龍氣生展 一行け、熱き陶の思いよ。



「行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って。」2018年、個人蔵

ハイヒールをかたどったオブジェ陶で作家デビューして以来、半世紀余りにわたりエロス（愛）とタナトス（死）を主題に、人間存在を陶芸表現で問い続けてきた三輪龍氣生（本名：龍作、十二代休雪）。その陶造形の魅力を、新作を含む代表作で紹介しします。

会期

開催中～12月20日（日）

Info  
0838-24-2400

山口県立萩美術館・浦上記念館



### 山口県立萩美術館・浦上記念館名誉館長 萩市名誉市民 浦上敏朗氏 ご逝去

萩市の芸術・文化振興に多大な貢献をされた浦上敏朗<sup>うらがみとしろう</sup>さんが、8月15日、心不全のためご逝去されました（享年94歳）。

浦上さんは1926年、萩市橋本町生まれ。日本浮世絵協会常任理事や東洋陶磁学会監事などに長く在任。1993年には葛飾北斎や歌川広重らの浮世絵、東洋古陶磁等2,500点以上を山口県に寄贈。これを機に萩市に県立美術館が建設されました。



## 世界文化遺産登録5周年記念 帆船「みらいへ」が 恵美須ヶ鼻造船所にやってくる！

幕末、萩藩が恵美須ヶ鼻造船所で建造した帆船「丙辰丸」<sup>へいしんまる</sup>と「庚申丸」<sup>こうしんまる</sup>にちなみ、帆船「みらいへ（全長52m）」の船内見学と発掘調査現地見学会が行われます。

### <船内見学>

**日時** 10月10日（土） 10～12時、15～17時

※受付は各30分前に終了。小雨決行、荒天時は中止の場合あり

**場所** 小畑漁港

**料金等** 無料、年齢制限なし。同時入場数制限あり、乗船者の検温・マスク着用



### <発掘調査現地見学会>

**日時** 10月10日（土）・

11日（日）両日 10～15時

**場所** 恵美須ヶ鼻造船所跡

**料金等** 無料、見学自由

Info  
萩市文化財保護課  
0838-25-3654

## 萩高校創立150周年記念事業 萩高校のお宝公開と記念講演を開催

創立150周年を記念し、萩高校が保有する「お宝」を一般公開。10月18日（日）の15時からは萩市総合福祉センターにて、拓殖大学外国語学部教授・保坂芳男さん<sup>ほさかよしお</sup>を迎え、萩中学の英語教育について講演会が開催されます。

**会期** 10月10日（土）～25日（日）

**場所** 萩・明倫学舎

10月18日に予定されていた同窓生・在校生両参加の記念式典は、コロナ禍の中、中止が決定しました。特別活動が制限される中、ゲスト予定だった紺野美沙子さん<sup>こんのみさこ</sup>のトークショーや、ミドリヨシノ・コウライタチバナの記念植樹が校内行事として予定されています。

Info  
萩高等学校同窓会事務局  
0838-22-0076



## 越ヶ浜郵便局長の末武晃さん 全国郵便局長会の新会長に就任

萩市越ヶ浜郵便局の末武晃局長<sup>すえたけあきら</sup>が、全国郵便局長会の会長に5月15日付で就任しました。この会は、旧特定郵便局の局長らで構成され、全会員数は約1万9,000人。末武局長は、解決すべき課題を前に、組織の結束に取り組む姿勢を述べています。



## 世界文化遺産登録5周年記念特別展

### 「萩の世界遺産 —幕末、サムライたちの挑戦！—

「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録5周年を記念し、江戸時代に長州藩のサムライたちが海岸防御強化の必要から工業化に試行錯誤した様子を物語る「萩の世界遺産」を紹介。

**会期** 開催中～11月29日（日）

**場所** 萩博物館企画展示室



Info  
0838-25-6447  
萩博物館





# 秋の萩を楽しもう



## 着物ウィーク in 萩 2020

風情ある萩の城下町を、着物でゆっくりまち歩き



昨年、「きものの似合う街大賞」で全国グランプリに選ばれた萩。歴史風情が今に残る城下町には、やはり着物が似合います。期間中は、着物レンタル・着付けを萩・明倫学舎で提供（レンタルは、ウェブサイトでの完全予約制）。着物で和の心を学ぶ体験プログラム「和の学び舎」や、ボランティアカメラマンによる写真撮影&プレゼント、着物フォトコンテストなどが行われます。

**日時** 10月1日(木)～11日(日) 10～17時  
10月9日(金)・10日(土)は、「萩・竹灯路物語」も同時開催  
**場所** 萩城下町周辺ほか市内各所

Info  
萩市観光協会  
0838-25-1750  
hagikimono



## 萩にゃん。お得にゃク〜ポン

萩市のホテル・旅館に泊まると 2,000 円分のクーポンをプレゼント！

対象のホテル・旅館で1泊 5,000 円以上の宿泊プランを利用すると、チェックイン時に一人 2,000 円分のクーポンが贈られます（先着順）。クーポンは萩市内の観光スポットや飲食店、萩焼施設、道の駅、観光タクシーなどで幅広く使えるお得なクーポンです！



**期間** 実施中～2021年1月31日(日)  
**利用対象施設** 冊子またはウェブサイトに掲載  
※パッケージツアーの場合は宿泊施設にお問い合わせ

Info  
萩市観光協会  
0838-25-1750

